



日本遺産「鮭の聖地」の物語による 根室海峡沿岸エコミュージアム構想

鮭の聖地メナシネットワーク事務局
標津町教育委員会生涯学習課長
小野哲也

1. 「鮭の聖地」ストーリーの特徴と概要

ストーリーの特徴 1

タイトルの「鮭の聖地」というフレーズは
アイヌの伝承に由来するもの

鮭は知床の沖にいるカムイ(神様) が
袋の中の魚の骨や鱗を海にばらまくと
それがみるみる鮭の姿になって
人々の住む村のある川にのぼってくる

ストーリーの特徴 2

北海道東部、**根室海峡沿岸**に位置する

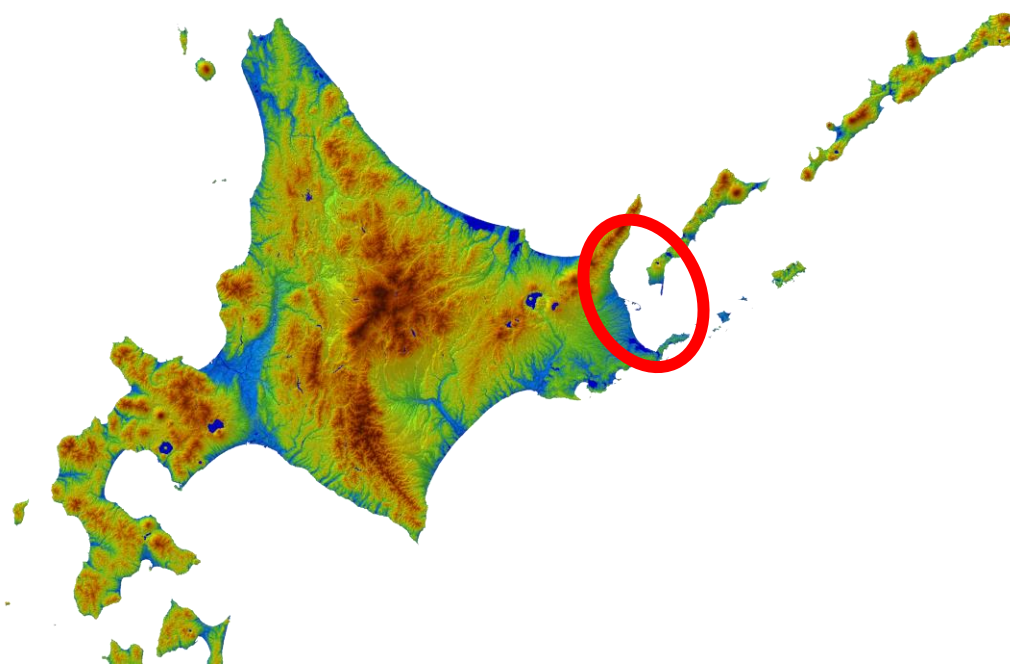
1市3町にまつわるストーリー

北海道標津町

根室市

別海町

羅臼町



北方領土隣接地域の日本遺産

ストーリーの軸は鮭を求める人々のつながり

はじまりは「根室海峡」

やがて根室港誕生と北前船来航で「日本全国」へ

そして明治時代に缶詰技術が導入され「世界」へ

根室海峡の鮭をきっかけとする人々の交流は
時代と共に広がりを見せていく

「鮭の聖地」の物語

～根室海峡一万年の道程～

鮭の聖地ストーリーの構成要素

世界的価値を有する 自然環境

知床半島

野付半島

春国岱

シマフクロウ

オオワシの群れ

羅臼沖の鯨類

縄文から近代まで 一万年の歴史文化

縄文文化

オホーツク文化

アイヌ文化

江戸時代北方交流

明治の水産史

大正以降の開拓史

川を通じ海と大地の
栄養循環を担う

サケ

あらゆる時代の
人の営みに関わる

エビ

カニ

ホタテ

コンブ

サンマ

ミルク

サケ漁の盛衰と表裏の関係

etc..

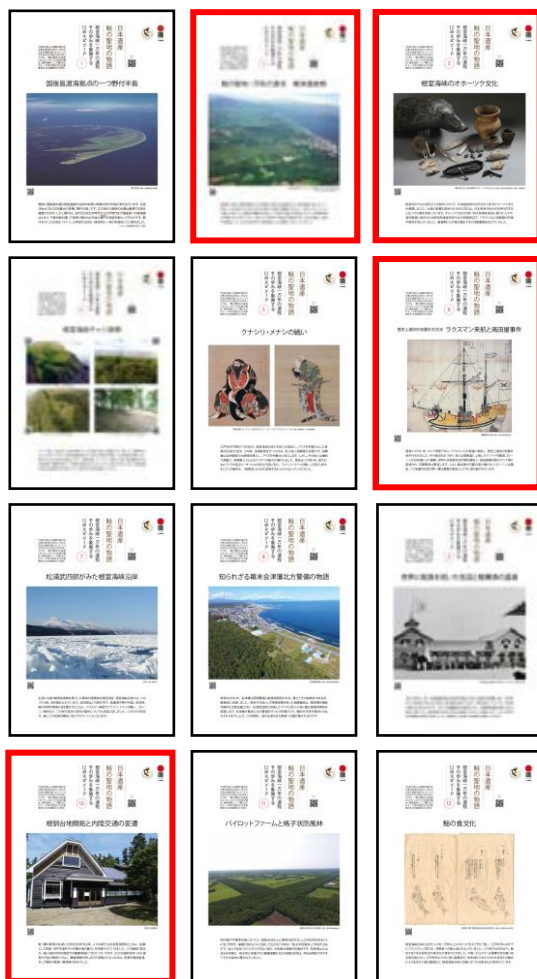
2. ストーリーを活かしたエコミュージアム構想

① 認定ストーリーを総論としたサブストーリー体系の設定

認定ストーリー



鮭の聖地を象徴する 12のエピソード



認定各市町を象徴する エピソード



根室市



別海町



標津町



羅臼町

②認定ストーリーを象徴する地域生産品のサブストーリー

認定ストーリー



鮭の聖地を象徴する 地域生産品 8 品目



地域生産品視点での ストーリー再編集



3. ストーリーを構成する文化財



縄文～古代
(標津町)

標津町内を流れる
伊茶仁川・ポー川流域に
形成された史跡標津遺跡群

現在の地表面から窪みで観察できる 竪穴住居跡群





大規模竪穴群が湿原や川、森など
周辺の自然環境と共に一体で保存されている

原始河川ポー川カヌー





ヒグマなど知床周辺の動物を象った
古代オホーツク人の造形品

古代（羅臼町）



ヒグマなど知床周辺の動物を象った
古代オホーツク人の造形品

古代（羅臼町）

古代北方文化に触れた上での 知床クルーズ



日本百名城にも登録されている 根室半島チャシ跡群

中世（根室市）



地域ガイドによるチャシツアー



近世（根室市）



**司馬遼太郎の小説『菜の花の沖』の主人公
高田屋嘉兵衛が創祀した根室金刀比羅神社**



宮司による解説

標津番屋屏風を活かしたまちあるきツアー

近世（標津町）

標津番屋屏風

標津神社



神社を起点とした
ガイドプログラム



鮭みくじ



旧奥行臼駅での トロッコ乗車体験



近代(別海町)



一万年の歴史の上に培われた根室地域の味覚



4. 鮭の聖地メナシネットワーク体制

代表 標津町教育委員会教育長 山崎 佳

根室市(教育委員会、商工労働観光課)、別海町(教育委員会、商工観光課)
標津町(教育委員会、商工観光課)、羅臼町(教育委員会、産業創生課)
大地みらい信用金庫地域みらい創造センター
知床ねむろ観光連盟、根室市観光協会、別海町観光協会
南知床標津町観光協会、(一社)知床羅臼町観光協会
ねむろトコロジストの会、特定非営利活動法人別海町文化財ネットワーク
野付半島ネイチャークラブ、標津町観光ガイド協会、
特定非営利活動法人サーモンサイエンスミュージアム
根室管内アイヌ協会連合会、標津漁業協同組合、標津町農業協同組合

総括事務局	標津町教育委員会生涯学習課
地域事務局	根室市歴史と自然の資料館
	別海町郷土資料館
	羅臼町郷土資料館

5. 具体の取組



鮭の聖地の飲食店・小売店を応援！

持続可能な観光を目指すため、地域生産品の振興と共に、地域の自然や文化遺産の保護を図るプログラムです。日本遺産「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程～に込められた、地域の一次生産品を素材とする飲食メニューや土産品の地産地消・地産訪消を促し、地域の自然・文化遺産保護活動を支援しています。

キャンペーン

2023. 3. 31 金まで



参加店舗・メナシブランド商品についてはHPまたは裏面をご覧ください。
<https://heritage-of-salmon.com/food/>

「メナシブランド」商品を購入すると…

キャンペーン限定！



鮭の聖地メナシカードプレゼント！

鮭の聖地メナシカードとは、日本遺産「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程～のストーリーを証明する、36件の文化財を紹介したトレーディングカードです。全36種あるカードのうち、店舗では30種をランダムで用意しています。



飲食店・土産物店と コラボした普及啓発





**統一デザインのパンフレット12種を
管内ゆかりの施設で配布**



**構成文化財のオリジナルカプセルトイを製作
管内博物館系施設で販売**



構成文化財缶詰ラベルデザインを用いて
旧開拓使サケ缶詰を復刻販売



**ストーリーゆかりの地でのプロモーション活動
会津若松市での幕末会津藩の歴史展示**

6. 今後の方向性

金川 路 新 川

2025年（令和7年）6月3日（火曜日）

2



あいさつする山崎代表

同協議会は根室管内1市3町で共同申請し、2020年に文化庁から日本遺産の認定を受けた、根室海峡沿岸でのサケの歴史と文化を伝えるストーリー「『蛙の聖地の物語』」を根室海峡地域振興などを推進して

「これまで計画してきた事業が一定程度進んでいるの

で認定の取り消しはないと考えているが、より一層日本遺産の活用に向けての取り組みを推進していかなければならない」と出席者に事業実施への協力を求めた。

今年度は、構成自治体の観光協会を中心とした観光部会の発足を目指し、ストーリーを生かした広域観光の仕組みづくりなどを検討。そのほか、蛙の聖地総括映像の制作や日本遺産フェスティバル（10月、岡山県）に出展する。

また「日本遺産シンポジウムin羅臼」は10月25日羅臼町郷土資料館で開催

【標準】根室海峡に面する1市3町（標準町、根室市、別海町、羅臼町）で構成する日本遺産推進協議会「蛙の聖地メナシネットワーク」（代表・山崎佳穂、標準町教育長）は5月29日、町生涯学習センターで2025年度総会を開いた。観光部会立ち上げの検討、10月に羅臼町でシンポジウムを開催するといった今年度の事業計画案と予算案を承認。役員改選では山崎代表を再任した。

観光部会立ち上げ検討

標準 蛙の聖地ネットが総会

釧根管内

町のニュース
お知らせください

標準支局
標準町旭町2の8の22
TEL015(485)3521
FAX015(485)3678

根室支社
根室市大正町1丁目22
信興ビル2階
TEL0153(24)2120
FAX0153(24)3964

中標津支社
中標津町東5条南1の1の13
レアビル2階
TEL0153(72)2201
FAX0153(72)2201

別海支店
別海町吉田新町
☆51-2773

羅臼支店
羅臼町日ノ宮新町
☆51-2160

阿寒支店
阿寒町八谷新町
☆51-2773

阿寒湖畔支店
阿寒湖畔支店
☆51-2773

尾道支店
尾道市道新南大通順光所
☆41-5860

尾道・上尾道支店
尾道市上尾道支店
☆56-2313

教育部局が中心となり取り組んできたが
今後は各市町観光協会を中心に
ストーリーを活かした観光振興を強化